
恋のゆくすえ

Y0

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋のゆくすえ

【Nコード】

N0880D

【作者名】

Y0

【あらすじ】

親の決めたレールを生きる主人公。ある日、本当の恋を知り自分の人生について考える…。親と彼…様々なしがらみや葛藤の中で私にとっての本当の幸せを見つける。

恋のゆくすえ はじまり…（前書き）

人生は自分で切り開いていくもの…

恋のゆくすえ はじまり…

あなたは今幸せな恋愛をしていますか？ 私…

「中島優」…

「お休みですか」…

そう私 中島優は今日の授業は欠席。 大事な授業なのはわかっているけれど、今日は大事な出来事が待っているから。

大学の授業はある程度出ていれば単位の取れるものばかりだし…。

そんな私はその頃は女子大在学中の21才。

ほんとは他に進みたい道があって行きたくない大学だったけど…でも親はこの大学に言っていればいい人と結婚できるからってここへの入学を薦めた。

確かにお嬢様大学だけに大学入学すぐからコンパも盛り沢山だった。彼氏もちろん出来た。それも超エリート。 目一杯のおしやれをして雑誌にも載った。毎日学校っていうより遊びに行く感覚で毎日が過ぎて行き、カッコいい彼氏にも恵まれて、端から見れば私は幸せな楽しい日々を送っている様に見えると思う。

でも、そんな私が本当にやりたかった事…それはパティシエになることだった…小さな時からの夢だった。でも親の描く理想と私の理想には大きなギャップがあった…。私が小さな頃には

「ケーキ屋さんになったら毎日買いにいつちやうぞ」なんて笑っていた親達は大きくなった私には大反対をした。そして…私は親の言う通りのレールを選んだ。

何もかも…

彼を選ぶ基準もそうだった。親の気に入った彼氏、そして私も向この親の気に入られていた。こちらは父が元気な間だけだったけれど…

そして今日はそんな彼氏の親のパーティーで有名な料理人に会える。

授業欠席はそれが目的。もしかしたら彼のコネで運命が開けるかも
って考えてる。私っていい子な様でやなヤツ。昔っから損得で物事
を考えてしまう。そして今日も… まさかそこで私の運命を変え
るのに会う事になるなんて全く想像もつかなかったけど…。

恋のゆくすえ はじまり…（後書き）

幸せの形はひとそれぞれ…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0880d/>

恋のゆくすえ

2011年1月25日01時34分発行